

生コンクリート価格スライド表

2023年4月1日 改定(2023スライド)

埼玉中央生コン協同組合

〒336-0017

埼玉県さいたま市南区南浦和3-17-5

TEL 048-885-3902(営業部)

FAX 048-881-7450(//)

TEL 048-885-8827(技術部)

ホームページ <http://www.namacon.or.jp/>

本スライド表について

1. 本スライド表は、標準配合を基準に策定されております。
2. スライド価格は、軽量コンクリートを除いて標準配合（普通 18-18-20N）価格への加算額です。なお、ご注文は全て 1.0 m³以上でお願い致します。
3. 軽量コンクリートは、A E 減水剤、普通セメント使用、呼び強度 18、気乾単位容積質量 1,850Kg/ m³の価格への加算額です。
4. 普通、舗装、高強度、大臣認定コンクリートの粗骨材の最大寸法は 20mm です。
5. 本表の掲載価格は、税抜き価格となっておりますので、代金請求時には別途消費税が加算されます。尚、出荷前キャンセル料金 [P10 (10)] は、不課税扱いとなりますので予めご了承願います。

目 次

本スライド表について	表紙裏
JIS A 5308 レディーミクストコンクリートの種類	1
単位水量指定における混和剤の使用区分表	2
1. 普通コンクリート（AE 減水剤）	3
(1) 価格スライド表	
① 普通セメント・高炉セメントB種、早強セメント	
② 中庸熱セメント、低熱セメント	
(2) 水セメント比指定の場合の呼び強度換算表	4
(3) 単位セメント量指定の場合の呼び強度換算表	
2. 普通コンクリート（高性能 AE 減水剤）	5
(1) 価格スライド表 普通・高炉B、早強、中庸熱、低熱	
(2) 水セメント比指定の場合の呼び強度換算表	
3. 高強度コンクリート（高性能 AE 減水剤）	6
(1) 価格スライド表	
① 普通セメント・高炉セメントB種	
② 中庸熱セメント	
	7
4. 軽量コンクリート	7
5. 舗装コンクリート	8
6. モルタル	
7. その他の料金など	8～12
(1) 記載のないセメントの種類、高炉微粉末使用の場合	8
(2) 水中不分離性コンクリート割増料金	8
(3) 繊維使用コンクリート割増料金	9
(4) 収縮低減剤（材）使用コンクリート割増料金	9
(5) 空積割増料金	9
(6) 長時間現場拘束の割増料金	9
(7) NEXCO 発注など特別な管理を要求される場合の割増料金	9
(8) その他割増料金など	10
(9) 持ち帰りコン	10
(10) 出荷前キャンセル料金	10
(11) 夜間出荷について	11
(12) 日曜、祝日、工場休業日の出荷について	11
(13) 試し練り料金	11
(14) 実機試験	12
(15) 価格の見直し	12

JIS A 5308 レディーミクストコンクリートの種類

コンクリートの種類	粗骨材の最大寸法 mm	スランプ又はスランプフロー 注 ^{a)} cm	呼び強度													
			18	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	60	曲げ 4.5
普通 コンクリート	20, 25	8, 10, 12, 15, 18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
		21	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
	40	5, 8, 10 12, 15	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
軽量 コンクリート	15	8, 10, 12 15, 18, 21	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
舗装 コンクリート	20,25,40	2.5, 6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
高強度 コンクリート	20, 25	10,15,18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
		50,60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-

注^{a)} 荷卸し地点の値であり、50 cm及び60 cmがスランプフローの値である。

単位水量指定における混和剤の使用区分表

○: AE 減水剤 ●: 高性能 AE 減水剤 △: 標準期は AE 減水剤、夏期^{注1)} は高性能 AE 減水剤

呼び強度	スランプ cm	単 位 水 量 kg / m ³									
		170		175		180		185		200	
		セメントの種類									
		N・BB M・L	H	N・BB M・L	H	N・BB M・L	H	N・BB M・L	H	N・BB M・L	H
24	・呼び強度 24 以下は AE 減水剤です。 ・呼び強度 24 の場合の●および△夏期の組合せは呼び強度 27 になります。 ただし、マスコン仕様の場合は、協同組合にお問い合わせ下さい。										
	12	○	●	○	○	○	○	—	—	—	—
	15	●	●	△	●	○	●	○	○	—	—
	18	—	—	●	●	●	●	○	●	○	○
21	—	—	—	—	—	—	—	●	●	○	○
27	12	○	●	○	○	○	○	—	—	—	—
	15	●	●	△	●	○	●	○	○	—	—
	18	—	—	●	●	●	●	△	●	○	○
	21	—	—	—	—	—	—	●	●	○	○
30	12	○	●	○	●	○	●	—	—	—	—
	15	●	●	△	●	○	●	○	○	—	—
	18	—	—	●	●	●	●	●	●	○	○
	21	—	—	—	—	—	—	●	●	○	○
33	・呼び強度 33 以上は原則として高性能 AE 減水剤です。 但し ・W=185 kg / m ³ 指定の 33-15 は、AE 減水剤です。 ・Hを除く、W=200 kg / m ³ 指定の 33-18 は、AE 減水剤です。また 33-21 は標準期のみ AE 減水剤です。										
	12	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—
	15	●	●	●	●	●	●	○	○	—	—
	18	—	—	●	●	●	●	●	●	○	●
21	—	—	—	—	—	—	—	●	●	△	●

注1) 夏期の期間は各工場が設定する夏期補正の期間とします。

注2) □—□ は設定のない組合せです。

注3) 本表にない組合せについては、協同組合にお問い合わせ下さい。

1. 普通コンクリート（A E 減水剤）

(1) 価格スライド表

① 普通セメント・高炉セメントB種、早強セメント

（単位：円 / m³）

呼び強度	セメントの種類	普通・高炉B種（28日）	早強（7日）
	スランプ	8, 10, 12, 15, 18, 21 cm	8, 10, 12, 15, 18, 21 cm
18		0	900
21		400	1,350
24		800	1,800
27		1,200	2,400
30		1,600	3,000
33		2,050	3,600

注1) 呼び強度 18 未満を選択される場合は、18 と同じ価格です。

② 中庸熱セメント・低熱セメント

（単位：円 / m³）

呼び強度	セメントの種類	中庸熱（28日）	低熱（28日）
	スランプ	8, 10, 12, 15, 18, 21 cm	8, 10, 12, 15, 18, 21 cm
18		900	1,800
21		1,350	2,300
24		1,800	2,800
27		2,250	3,300
30		2,700	3,800
33		3,200	4,350

注1) 高炉セメントB種、中庸熱セメントの材齢 56 日（標準養生）は、材齢 28 日の▲200 円/m³です。

注2) 低熱セメントの材齢 56 日（標準養生）は、材齢 28 日の▲400 円 / m³です。

注3) 呼び強度 18 未満を選択される場合は、18 と同じ価格です。

(2) 水セメント比指定の場合の呼び強度換算表 (AE 減水剤使用コンクリート)

セメントの種類 水セメント比 (%)	普通・高炉 B 種 (28 日)	中庸熱 (28 日)	低熱 (28 日)	早強 (7 日)
65 以下	21	—	—	—
60 以下	24	24	21	24
55 以下	27	27	24	27
50 以下	30	30	27	30

セメントの種類 水セメント比 (%)	高炉 B 種 (56 日)	中庸熱 (56 日)	低熱 (56 日)
60 以下	27	27	27
55 以下	30	30	30
50 以下	33	33	33

(3) 単位セメント量指定の場合の呼び強度換算表 (AE 減水剤使用コンクリート)

セメントの種類 指定セメント量 (kg / m ³)	普通・高炉 B 種 (28 日)		
	スランブ 12 cm 以下	15 cm	18 cm
300 以上	27	24	24
330 以上	30	30	27
350 以上	33	30	30
370 以上	36	33	—

2. 普通コンクリート（高性能AE減水剤）

(1) 価格スライド表（高性能AE減水剤使用コンクリート）

（単位：円 / m³）

呼び強度	セメントの種類	普通・高炉B (28日)	早強 (7日)	中庸熱 (28日)	低熱 (28日)
	スランプ	15, 18, 21 cm			
27		1,650	2,850	2,750	3,750
30		2,100	3,500	3,300	4,350
33		2,600	4,150	3,850	5,000
36		3,150	4,800	4,450	5,600
40		3,700	5,450	5,050	6,250
42		4,300	6,050	5,700	6,950
45		4,900	6,650	6,350	7,650

注1) 高炉B種・中庸熱の材齢56日（標準養生）は、材齢28日の▲200円 / m³

注2) 低熱の材齢56日（標準養生）は、材齢28日の▲400円 / m³

注3) スランプ15cm未満は協同組合にお問い合わせ下さい。

注4) 高強度JIS、スランプフロー管理の価格スライドは協同組合にお問い合わせ下さい。

(2) 水セメント比指定の場合の呼び強度換算表（高性能AE減水剤使用コンクリート）

水セメント比(%)	セメントの種類	普通 (28日)	高炉B種 (28日)	早強 (7日)	中庸熱 (28日)	低熱 (28日)
55以下		27	27	27	27	24
50以下		33	30	30	30	27
45以下		36	36	36	36	33

注) セメント量指定のある場合は、協同組合にお問い合わせ下さい。

3. 高強度コンクリート（高性能AE減水剤）

(1) 価格スライド表

高強度コンクリート（スラブ^{21, 23cm} 及びスラブ^{70-50, 55, 60cm} 高性能 AE 減水剤）建築用

① 普通セメント・高炉セメントB種

（単位：円 / m³）

普通セメント・高炉B種					
材齢 28 日 粗骨材 20 mm					
スラブ / フロー	スラブ	スラブ	フロー	フロー	フロー
呼び強度	18,21 cm	23 cm	50 cm	55 cm	60 cm
46	5,150	5,300	6,650	6,850	—
48	5,600	5,750	7,100	7,300	—
50	6,050	6,200	7,550	7,750	7,950
51	6,250	6,400	7,750	7,950	8,150
54	—	6,950	8,300	8,500	8,700
55	—	7,250	8,600	8,800	9,000
57	—	7,750	9,100	9,300	9,500
60	—	8,600	9,950	10,150	10,350

② 中庸熱セメント

（単位：円 / m³）

中庸熱セメント					
材齢 28 日 粗骨材 20 mm					
スラブ / フロー	スラブ	スラブ	フロー	フロー	フロー
呼び強度	18,21 cm	23 cm	50 cm	55 cm	60 cm
46	6,600	6,750	8,100	8,300	—
48	7,050	7,200	8,550	8,750	—
50	7,500	7,650	9,000	9,200	9,400
51	7,700	7,850	9,200	9,400	9,600
54	—	8,400	9,750	9,950	10,150
55	—	8,700	10,050	10,250	10,450
57	—	9,200	10,550	10,750	10,950
60	—	10,050	11,400	11,600	11,800

注) 上記以外のセメントの種類、呼び強度、スラブ、スラブフローのスライド価格については協同組合にお問い合わせ下さい。

4. 軽量コンクリート

軽量コンクリートについては、打設地域・打設数量・打設時期により出荷可能であるかを判断しますので、事前に協同組合にお問い合わせ下さい。

詳しくは、当組合ホームページ 2024 年 1 月 31 日付けのお知らせ「今後の軽量コンクリートの取り扱いについてのお願い」を参照下さい。

5. 舗装コンクリート

(1) 舗装コンクリート

(単位：円 / m³)

呼び強度	スランプ (cm)	普通・高炉B種 (材齢 28 日)	早強 (材齢 7 日)
曲げ 4.5	2.5	ベース +2,000	3,350
	6.5	ベース +2,700	4,050

注1) 粗骨材最大寸法は、20 mmとなります。

注2) スランプ 2.5 cmはプラント渡しでの価格です。

注3) 曲げ強度、スランプに指定のある場合は、協同組合にお問い合わせ下さい。

注4) 舗装コンクリートについては、出荷可能工場が限定されますので、予め協同組合にご相談願います。

(2) 早期開放型コンクリート舗装 (1 DAY PAVE)

出荷可能工場、配合、価格については予め協同組合にご相談願います。

6. モルタル

(単位：円 / m³)

配合	セメントの種類	普通・高炉B種	
1 : 1		ベース	+ 10,500
1 : 2		ベース	+ 6,000
1 : 3		ベース	+ 4,000
1 : 4		ベース	+ 3,000

注1) 1.0 m³未満のご注文を頂いた場合でも 1.0 m³の価格となります。

注2) 上記以外の配合は、協同組合にお問い合わせ下さい。

7. その他の料金など

(1) 本スライド表に記載されていない下記の生コンクリートの価格につきましては、特殊品扱いとなりますので、全て配合内容別に計算して価格を決定します。

- ① 特殊セメント種類 (SF セメント、VKC セメント、MKC-Ⅲセメント、その他特殊) 使用
- ② 高炉スラグ微粉末などの混和材料使用

※なお、特殊な原材料の供給状況によっては、生コンクリートの供給が出来ない場合、もしくは供給に支障をきたす場合がございます。

(2) 水中不分離性コンクリート割増料金

- ① 打設数量にかかわらず、生コン代金とは別に、基本料金として、1件1日あたり80,000円を請求させていただきます。
- ② 1日の打設数量が、4.0 m³超の場合は、上記に加えて、4.0 m³超の数量に対して加算料金として、5,000円 / m³を請求させていただきます。

1日の打設数量	① 基本料金 (円 / 件・日)	数量加算料金
		② 4.0 m ³ 超 (円 / m ³)
1.0 m ³ ～4.0 m ³ 迄	80,000	—
4.0 m ³ 超	80,000	5,000

注1) 混和剤投入は現場で行って下さい。

注2) 混和剤の材料費、投入費は含みません。

注3) 残水、残コンは現場内で処理して下さい。

(3) 繊維使用コンクリート割増料金

ナイロン、ポリプロピレン、ビニロン、アクリル繊維ガラス、高強度用爆裂防止材、及びこれらに準ずる合成短繊維、スチールファイバー等を使用するコンクリート。

残コン、残水の処理を現場内で行う場合は、2,500 円 / m³を請求させていただきます。

注1) 繊維の投入は現場で行って下さい。

注2) 繊維の材料費、投入費は含みません。

注3) 但し、繊維のドラム内付着により、工場帰着後に再洗浄が必要な混和材については、下記の表に基づいて、請求させていただきます。

注4) 事前に連絡がなく残った繊維の影響で生コンプラントが故障した場合は、損害費用を請求させて頂く場合があります。

1日の打設数量	基本料金 (円 / 件・日)	数量加算料金
		4.0 m ³ 超 (円 / m ³)
1.0 m ³ ～4.0 m ³ 迄	80,000	—
4.0 m ³ 超	80,000	2,500

(4) 収縮低減剤（材）使用のコンクリート割増料金

ヒビダン、ヒビガード、テトラガードなどの収縮低減剤（材）及び、収縮低減型化学混和剤使用コンクリートについては、事前に協同組合にお問い合わせ下さい。

(5) 空積割増料金

大型車

(単位：円 / 台)

積 載 量 (m ³)	割増料金
2.0 m ³ 超～3.0 m ³ 以下	1,000
1.0 m ³ 超～2.0 m ³ 以下	3,000
1.0 m ³ 以下	6,000

注) 小型車の空積割増料金は、出荷工場にお問い合わせ下さい。

(6) 長時間現場拘束の割増料金

工場出荷後、一定時間を超えても荷卸しが完了しない場合、もしくは現場から退場出来ない場合は、1台あたり10,000円を請求させていただきます。

(7) NEXCO発注など、特別な管理を要求される生コン納入については、割増料金が発生します。金額については協同組合にお問い合わせ下さい。

(8) その他割増料金など

(単位：円 / m³)

項 目	割増 / 割引単価
打放しコンクリート	同強度価格 +100
杭および連続地中壁用コンクリート	" +100
流動化剤等 後添加し高速攪拌する場合	" +200
半砂利コンクリート	" +500
バッチャープラント渡し(ダンプの場合)注)	" ▲1,000

注) アジテータ車によるバッチャープラント渡しの価格については、当該組合員にお問い合わせ下さい。

(9) 持ち帰りコン

商品代相当額+取消料 10,000 円 / m³

持ち帰りコンとは、ご注文頂いて生産し、現場に運んだものの、アジテータ車から全く荷卸しせずに持ち帰る生コン(戻りコン)、または一部しか荷卸しせずに工場に持ち帰る生コン(残コン)を指します。

なお、「レディーミクストコンクリート納入書」及び当該「受領書」に当協同組合が発行する「残コン、戻りコン確認書」のシールを貼付し、このシールに施工者ご担当者様のサインをご記入の上、当該「受領書」を工場にお戻し下さい。

(10) 出荷前キャンセル料金

- ① 前日(営業日) 12:00 以降に中止連絡があった場合、もしくは前日の各現場との予定確認において、雨天または荒天が予想され、それでも打設決行の表明がなされ、当日になって出荷中止となった場合は、下表のキャンセル料金が発生します。

(単位：円 / 件)

出荷予定数量	金 額
50 m ³ 以上～ 100 m ³ 未満	100,000
100 m ³ 以上～ 200 m ³ 未満	200,000
200 m ³ 以上～ 300 m ³ 未満	300,000
300 m ³ 以上～ 400 m ³ 未満	400,000
400 m ³ 以上～ 500 m ³ 未満	500,000
500 m ³ 以上	600,000

注) 1 件とは、工区別、棟別の納入現場件数を指し、1 工場ごとにキャンセル料金の対象となります。

- ② 当日、出荷が開始され、前日確認の予定数量の 1/2 以上、もしくは 200 m³以上が減少になった場合も、減少数量に応じて、上記表のキャンセル料金を請求させていただきます。
- ③ 出荷予定工場を貸切る場合(他の予定を組めない状況)で、前項①②のキャンセルが発生した場合は、前項の取決めに加えて、輸送車輛料金などの損害実費を請求させていただきます。

(11) 夜間出荷（19時以降、明朝5時までの工場発の出荷）について

- ① 当協組組合員は、19時以降の出荷を前提とした出荷は行いません。
- ② 災害復旧など緊急時のやむを得ない理由で、出荷する場合は、夜間出荷特別割増料金及び特別キャンセル料金が発生しますので、協同組合にお問い合わせ下さい。
- ③ 夜間を前提としない出荷が、現場都合で出荷がずれ込んだ場合、19時以降に出荷された分に対して、10,000円/m³の加算料金を請求させていただきます。なお、工場によっては、対応出来ない場合があります。

(12) 日曜、祝日、工場休業日の出荷について

- ① 当協組組合員は、日曜日と国民の祝日及び工場休業日（指定土曜休日、夏季、年末年始）の出荷は行いません。
- ② 災害復旧など緊急時のやむを得ない理由で、出荷する場合は、休日出荷特別割増料金及び特別キャンセル料金が発生しますので、協同組合にお問い合わせ下さい。
- ③ 工場休業日については、当該組合員にお問い合わせ下さい。

(13) 試し練り料金

- ① 全てのレディーミクストコンクリートおよびモルタルなどの試し練り料金、及び追加試験料金は、下表のとおりです。

なお、JIS規格品及び修正標準配合品の試し練りについては省略をお願い致します。

- ・ JIS規格品は、標準化された製品であり、仕様書等にも省略の趣旨が記されています
- ・ 修正標準配合品は、標準配合と同品質にすべく、季節変動や運搬時間の修正を施したものです

試し練り料金

項 目	単 位	料 金 (円)
スランプ又はスランプフロー試験、 空気量、塩化物含有量、コンクリート温度、 圧縮強度用供試体作成及び圧縮強度試験 6本	1バッチ	25,000

注1) 全ての試し練り料金は、配合毎とし、共納工場がある場合、他の工場と重複しての請求はありません

注2) 容量増加の為の追加バッチは5,000円/配合となります。

② 追加試験

試し練り時の追加試験の実施については、ご省略をお願い致します。

やむを得ず実施する場合については、下記の料金を実施工場ごとにご請求させていただきます。下記にない試験項目を実施する場合については、別途費用が掛かりますので、協同組合にお問い合わせ下さい。

追加試験料金

試験項目	単位	料金(円)	備考
スランプ又はスランプフロー	1試験	1,000	
空気量 1試験	1試験	1,000	
塩化物含有量	1試験	2,000	工場で標準化している試験方法
供試体成形	3本	3,000	φ100×200mm
供試体の上面仕上げ	3本	2,000	キャッピング、研磨
圧縮強度試験	3本	3,000	
単位水量試験	1試験	10,000	工場で可能な試験方法
経時変化	1時間	10,000	練上り直後の、試験は含まない
細骨材泥分	1試料	5,000	2回分、写真撮影含む

(14) 実機試験

実機試験については、ご省略をお願い致します。

やむを得ず実施する場合については、下記の料金を実施工場毎に請求させていただきます。

項目	単位	料金(円)
スランプ又はスランプフロー試験、 空気量、塩化物含有量、コンクリート温度、 圧縮強度用供試体作成及び圧縮強度試験 6本	1車	生コン単価(円) × 積載量(m ³) + 20,000円 ※注
※ 注1) 水中不分離剤、各種繊維類、増粘剤等混和材料を運搬車に投入する場合は、 20,000円に加えて、前記7(2)(3)(4)記載の割増料金を請求させていただきます。 注2) 上記投入の結果発生する廃棄物の処理については、実費を請求させていただきます。		

なお、試験時に追加の試験項目を実施した場合は、「(13)②追加試験」に定める試験料金を請求させていただきます。

(15) 価格の見直し

割決月から24ヶ月の期間中に価格改定が実施され、且つ割決月から24ヶ月経過後の契残数が総契約数(元契約数および追加契約数の合計)の10%を超えた物件については、その契約残数に対し販売価格を見直します。

